

議 事 録

平成 27 年 5 月 8 日作成

会 議 名	第 1 回 麻布フェスタ事業業務委託事業候補者選考委員会
開催日時	平成 27 年 4 月 28 日（火曜日）午後 2 時 30 分～午後 4 時 00 分
開催場所	麻布地区総合支所 2 階第 3 会議室
委 員	（出席者）青木康平委員長、大滝裕之副委員長、山本隆司委員、 松井義人委員、木下典子委員
事 務 局	麻布地区総合支所管理課管理係 田代係長、新井主事、松岡主事
会議次第	1 開会 2 募集要項の決定について 3 審査方法等の決定について 4 選考スケジュール（案）について 5 その他 6 閉会
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・資料 1-1 麻布フェスタ事業業務委託事業候補者選考委員会設置要綱 ・資料 1-2 選考委員名簿 ・資料 2 募集要項（案） ・資料 3 仕様書（案） ・資料 4 選考基準（案） ・資料 5-1 第一次審査選考採点表（案） ・資料 5-2 第二次審査選考採点表（案） ・資料 6 選考方法について（案） ・資料 7 選考スケジュール（案） ・参考資料 様式集
会議の結果及び主要な発言	
事務局	<p>1 開会</p> <p>2 募集要項の決定について （事務局より資料 1-1～3 について説明）</p>
E 委員	仕様書 5 の業務委託内容（1）アの事務局が想定している 6 回程度とは、当初から確定している事業か。
事務局	仕様書では、①麻布地区内の既存イベントを活用したイベント等から⑤の

	華道、茶道、書道などの日本の伝統的な文化を素材としたイベント等までの5つの事業に独自提案を加えた計6つの事業が対象となるため、6回程度としている。
委員長	仕様書上は、①から⑤から選んで、6回実施するような内容に取れる。独自提案を含めてということであれば、その内容がわかる記載にすべき。
事務局	指摘を踏まえ、独自提案の項目を追加する。
C委員	募集要項2の公募の趣旨の中で、国際性という記載があるが、仕様書の2の目的には国際性の記載がなく、5の業務委託内容(1)イの企画提案にあたっての留意点の中で記述が出てきている。ここの表現における濃淡については何か意図があるのか。
事務局	特段意図はなく、仕様書として目的をわかりやすく、明確にするために、募集要項の趣旨を要約したものになる。
B委員	募集要項の3の委託業務の概要の参考事業規模について、提案上限額としながらも金額には、程度とある。表現を整えるべきでは。
事務局	指摘を踏まえ、修正する。
D委員	今回の事業の提案の中で、既存イベントを活用したイベント等とあるが、これはどこかの祭りなどのイベントの開催に合わせて、独自のブースみたいなものを設置するような内容か。
事務局	活用するイベントの内容に左右されるが、ブースを設置する場合もあれば、融合することで、既存イベントを発展させるような内容を考えている。
D委員	6回程度の実施を予定しているとのことだが、1回あたりの費用について、どういう内容を想定しているのか。
事務局	実際は事業者からの提案内容に大きく影響する部分であるが、想定としては、人件費が一番占めており、イベント開催の都度、アーティストやタレントを呼ぶことも考えている。
委員長	今回の事業は、麻布アートフェスタという従来の事業を再編し、アートに特化しない内容になるかと思うが、今回の事業再編に至った経緯はなにか。

事務局	従前の麻布アートフェスタでは、蟬の羽化がアートであるということで蟬の羽化の時期に合わせ、観察を有栖川宮記念公園で実施したり、ハロウィーンに合わせ、参加者が布きれを使用して、パレード用衣装を作成したりといった内容を実施している。ただ、そうした特定の参加者だけのイベントでは、実施後の波及効果が薄いため、より多くの地域住民が参加するイベントにこの事業を合わせることが効果的だと考え、見直しを行った。
委員長	仕様書で対象としている6つの事業にかかる提案書類だが、現在用意されている様式は、A4の1枚の中で、4つの質問に対して記載する体裁となっているが、これでは事業者が困難ではないか。
E委員	提案として、文字だけではなく、図や写真などを挿入したい事業者もいることを考えると厳しいのではないか。
事務局	A4の様式はそのまま、枚数に限度を設ける形か。
D委員	第一次選考は書類選考であるので、評価する側としては、1枚で確認できた方が望ましい。また、第二次選考における事業者のプレゼンテーションは制約がないという理解でよいか。
事務局	第一次選考では、書類審査を行い、3者程度選出した後、第二次選考では、そのまま第一次選考の提案書類をそのまま使用することを考えている。
E委員	今回提案として、どのあたりに重点を置いているのかが客観的にわかる内容であれば評価しやすいと思うが、この様式だと、どの事業者も似通った内容を書いてくる恐れがあるため、差がつくようなものであれば良いのではないか。
委員長	1枚の様式の中で、質問項目が配置されていると、提案に対する自由さを欠くのではないか。項目を配置するのではなく、提案の中に質問にかかる視点を必ず盛り込む形にすることで、柔軟に対応できるのではないか。また、A4数枚ではなく、A3の1枚の方が自由度は高いのではないか。
C委員	様式に記載させる内容を別紙で示しておいたらどうか。
事務局	指摘を踏まえ、様式等については、調整する。

	<p>3 審査方法等の決定について (事務局より資料4、5-1、5-2、6について説明)</p>
C委員	仕様書の目的におけるふれあいの「場」の創出の記述の部分で、区民をはじめ地域の様々な人々の運営参加とあるが、区民に事業運営への継続的な参加を促すのであれば、運営参画の視点があっても良いのでは。
事務局	今回の事業では、「麻布フェスタ」サポーター等の育成の中で、サポーターを育成し、運営に参画してもらう方向でいるが、目的そのものに運営参画の視点を踏まえることとする。
E委員	従来の既存イベントと併せ、事業者に新たな提案内容を求めていると思うが、地域における区民や外国人など、特定の間人が毎年続けて事業に関わることや、サポーターの育成の部分からも、継続性の視点についてはどのように捉えているのか。
事務局	公募した事業者については、3年間サポーターの育成に努め、次期の事業者につなげるとともに、その後もサポーターが運営に参画するような方向に持っていきたいと考えている。
B委員	第一次審査の選考採点表で、評価内容には、該当しない場合の評価方法がないように見えるが。
事務局	第一次審査の選考採点表の欄外に評価項目において、提案書への記載がない場合は加点しないとしているので、記載がない場合は0点、何か記載があれば最低限の評価点がつくことになる。
委員長	選考採点表にコメント欄があるが、第一次審査では各評価項目にコメント欄があるので、第一次審査にかかる総括コメント欄は必要ないのではないか。
事務局	指摘を踏まえ、修正する。
委員長	提案書類でいうところの各テーマにかかる実施スケジュールは個別のスケジュールということかと思うが、全体スケジュールについても提案させる形になっているのは、意味合いが違うということか。
事務局	ここでいう全体スケジュールは、各事業が特定の時期に偏ったりしていないかなどを見るための各事業計画を網羅した年間の全体スケジュールのことであり、ガントチャートを想定している。

委員長	募集要項の中で、各テーマに応じた個別の実施スケジュールと事業全体のスケジュールがわかるように記載の工夫をすべき。
事務局	記載内容を修正する。
委員長	それではこれまでの内容を踏まえ、事務局にて修正するので、再度確認をお願いします。
全委員	了承。
	<p>4 選考スケジュール（案）について （事務局で資料7について説明）</p>
全委員	了承。
	<p>5 その他 （事務局より次回の第2回選考委員会について説明）</p>
	<p>6 閉会</p>